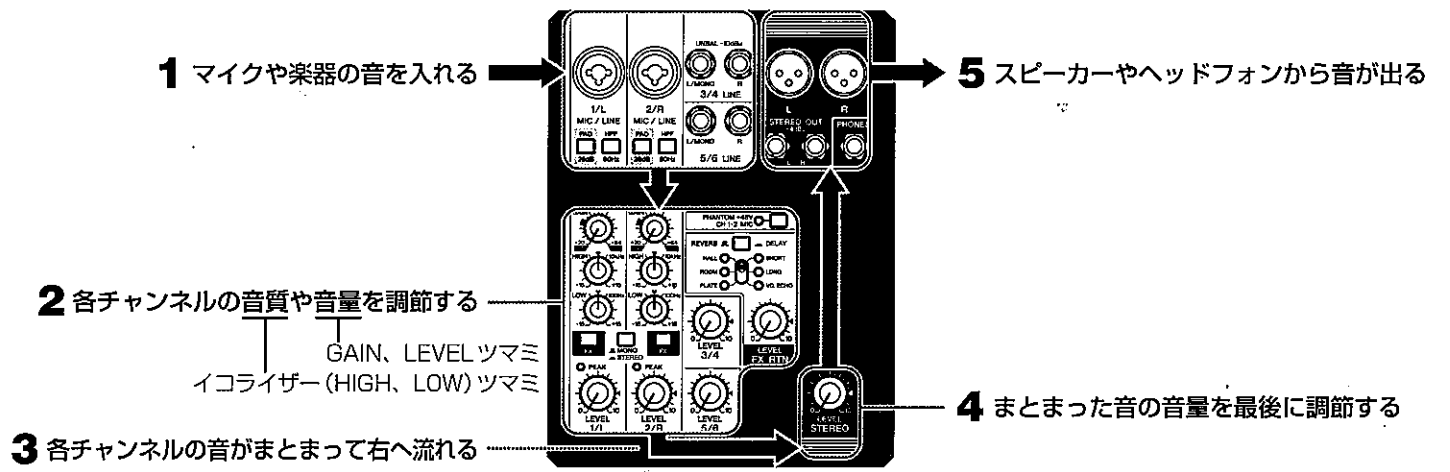


ミキサーの基本:音の流れ

右の説明イラストは、チャンネルに入力した音が1つにまとまって、スピーカーやヘッドフォンから音が出るまでの音の流れを示しています。入力した音がミキサーの中でどのような経路で流れていくかを理解しましょう。



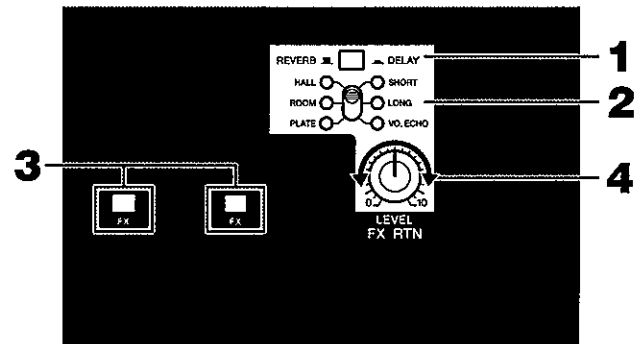
エフェクトをかける(MG06X)

MG06Xは、ヤマハマルチエフェクターSPXシリーズと同クラスのリバーブ(残響音)とディレイ(遅延)のエフェクトを内蔵しています。以下の手順でエフェクトをかけることによって、コンサートホールやライブハウスで演奏しているような音の広がりや響きが得られます。

1 [REVERB] / [DELAY] スイッチを使って、リバーブ(■)またはディレイ(▲)を選びます。

- エフェクト選択スライドスイッチを上下に動かして種類を選びます。選ばれているエフェクトのLEDが点灯します。
- エフェクトをかけたいチャンネル(1/Lまたは2/R)の[FX]スイッチをオン(▲)にします。
- [FX RTN LEVEL] ツマミを回して、エフェクトのかかり具合を調節します。

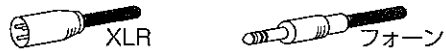
エフェクトの種類	内容	
REVERB (リバーブ)	HALL	コンサートホールをシミュレートした残響音
	ROOM	小さな空間(部屋)での響きをシミュレートした残響音
	PLATE	鉄板エコーをシミュレートした残響音
DELAY (ディレイ)	SHORT	音が二重(ダブルング)に聞こえる短いエコー
	LONG	音が繰り返し響きながら小さくなる、やまびこ効果のエコー
	VO.ECHO	カラオケ用途に最適なエコー



各部の名称と機能

① (背面)DC IN [12V]端子
付属の電源アダプターを接続します。

② [MIC/LINE]モノラル入力端子(チャンネル1/L,2/R)
マイク、楽器、オーディオ機器を接続します。XLR、フォンの両プラグに対応しています。



③ [LINE]ステレオ入力端子(チャンネル3/4,5/6)
電子キーボードやオーディオ機器などのラインレベルの機器を接続します。フォンプラグに対応しています。[L/MONO]端子だけを使うと、チャンネルL(左)とR(右)の両方のスピーカーから同じ音が出ます。

④ [PAD]スイッチ
オン(▲)にすると、本体に入力した音が減衰されます。音が歪む場合や[PEAK]LED ⑫が点灯する場合は、オン(▲)にしてください。
NOTE スイッチを切り替えるときは、ノイズが出る場合がありますので、[LEVEL]つまみを「0」(最小)にしてから切り替えてください。

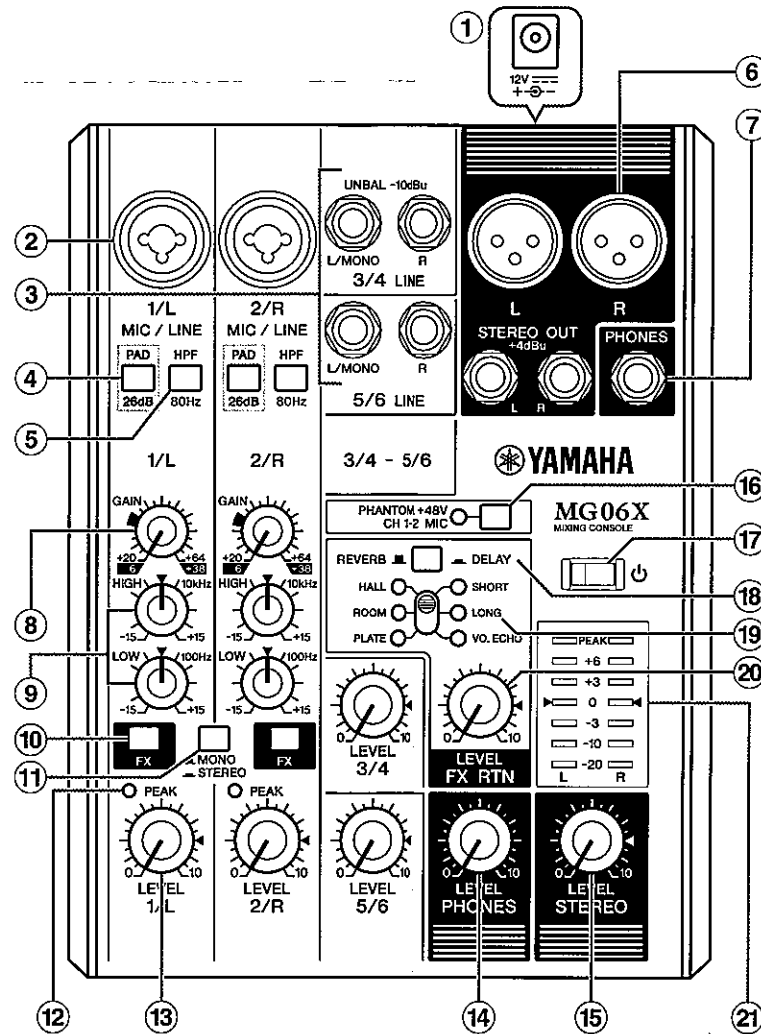
⑤ [HPF](ハイパスフィルター)スイッチ
オン(▲)にするとハイパスフィルターがかかり、80Hz以下の低い音が取り除かれます。マイクが拾った振動や風切り音を軽減するため、マイクで人の声を入力するときは通常オン(▲)にします。

⑧ [GAIN]つまみ
チャンネル1/L, 2/Rの基本となる音量を決めます。強く歌ったときや強く弾いたときに[PEAK]LED ⑫が一瞬点灯する程度につまみを調節します。

⑨ イコライザー(EQ)つまみ
[HIGH] (高音域)と[LOW] (低音域)のつまみを使って音質を調整します。音質調整が不要な場合は、「▼」(フラット)の位置に設定してください。

⑩ [FX]スイッチ(MG06X)
チャンネル1/L, 2/RのFX(エフェクト)をオン(▲)/オフ(■)します。

⑪ [MONO/STEREO]スイッチ
[MONO]: チャンネル1/L, 2/Rに入力された音が、左右の両方のスピーカーから出ます。1/Lと2/Rを個別に使うときはこの設定にします。
[STEREO]: チャンネル1/Lに入力された音は左のスピーカーからだけ、チャンネル2/Rに入力された音は右のスピーカーからだけ出ます。



⑫ [PEAK] LED
入力した音やイコライザー調整後の音量が大きすぎる場合に点灯します。点灯したら、[GAIN]つまみ⑧を左へ回して音量を下げてください。

⑬ [LEVEL]つまみ
各チャンネル間の音量バランスを調節します。

⑭ [PHONES LEVEL]つまみ
ヘッドフォンの音量を調節します。

⑮ [STEREO LEVEL]つまみ
[STEREO OUT]出力端子から出力される全体の音量を調節します。

⑥ [STEREO OUT]出力端子
パワードスピーカーまたはパワーアンプを接続します。XLR、フォンの両プラグに対応しています。

⑦ [PHONES]出力端子
ヘッドフォンを接続します。ステレオフォンプラグに対応しています。

⑮ [PHANTOM +48V]スイッチ/LED
スイッチをオン(▲点灯)にすると、[MIC/LINE]モノラル入力端子②のXLRプラグにDC+48Vのファンタム電源が供給されます。コンデンサーマイクを使用するときは、このスイッチをオンにしてください。
▲注意
ファンタム電源が不要な場合、スイッチをオフ(■)にしてください。ファンタム電源をオンにする場合、本体や外部機器の故障やノイズを防ぐために、次の内容にご注意ください。
・チャンネル1/L, 2/Rにファンタム電源非対応の機器を接続するときは、スイッチをオフにする。
・スイッチをオンにしたまま、チャンネル1/L, 2/Rでケーブルの抜き差しをしない。
・ファンタム電源のオン/オフは、チャンネル1/L, 2/Rの[LEVEL]つまみを最小にした状態で行なう。

⑯ [ON](スタンバイ/オン)スイッチ
電源のスタンバイ(■)/オン(▲)を切り替えます。
▲注意
・[ON]スイッチのスタンバイ/オンを連続して素早く切り替えると、誤動作の原因になることがあります。[ON]スイッチをスタンバイにしてから再度オンにする場合は、5秒以上の間隔を空けてください。
・[ON]スイッチがスタンバイの状態でも微電流が流れています。長時間使用しないときは、必ず電源アダプターをコンセントから抜いてください。

⑯ [REVERB] / [DELAY] スイッチ(MG06X)
チャンネル1/L, 2/Rにかけるエフェクトをリバーブ(■)またはディレイ(▲)に切り替えます。

⑰ エフェクト選択スライドスイッチ(MG06X)
スイッチを上下に動かして、エフェクトの種類を選びます。選んでいるエフェクトのLEDが点灯します。

⑱ [FX RTN LEVEL](エフェクトリターンレベル)つまみ(MG06X)
エフェクトの音量を調節します。

⑲ レベルメーター
[STEREO OUT]出力端子から出力されるレベル(音量)を表示します。「PEAK」(赤)が点灯したら、[LEVEL]つまみを使って音量を上げてください。